

2005年10月11日 中京大学図書館発行

ことばの散歩-9-

## 「梨」のつく地名をめぐって

図書館長 安村 仁志

### 東京“亀有”は“亀梨”だった!

東京都葛飾区に「亀有」という地名があります。マンガでも有名になりましたが、江戸時代前期までは「亀無」、「亀梨」と呼ばれていたといえます。正保元年(1644年)の幕府による国図作成の際、「かめなし」の「なし」を忌みきらって「かめあり」に改められたというのです。これは果物の「梨」が「なし」の音を嫌うことから、「有りの実」と呼ばれるのと同じです。この改名には、水戸光圀が関係しているという言い伝えもあります。光圀がこの地を訪れた時、万年も生きる長寿の、めでたい「亀」がない(亀にあやかれない)のは具合が悪いと言ったというのです。真偽の程は定かではありませんが、ともかくも「なし」は忌み詞として敬遠されたことは間違いなさそうです。亀有駅からさほど遠くないところにある香取神社にそういった由来の記があるそうです。

では、元の「亀無」はどういう意味だったのでしょうか。亀のいない土地だったのでしょうか。そうではないようです。「亀」とは生き物ではなく、亀の背のような形をした、高まった土地のことをいうようで、東京の低地には「亀」のつく地名がけっこうあるのはそういった背景によるのです。「亀」の甲羅の形を「成す」土地であったからということであつたようです。

別の説があります。「亀無」は「キム」と読むべきではないかというのです。「キム」という地名に漢字を当てる際に、一字ずつ「亀」と「無」が使われたのではないかというものです。この場合、なぜ「キム」かといえば、このあたりには古代に渡来人の「キム(金)さん」が住んでいたからだとされます。関東には高句麗から大量の移民があつたらしいとして、この説をとる向きは根拠づけます。となると、これは壮大な歴史的背景のある説になります。

「亀成す」が「亀なし」になったとして、「なし」に「無」の字が当てられたことから文字通り、「梨」の字が当てはめられたことから音の点で、上記の言い換えが生まれたのでしょうか。「なし」にあたる他の漢字は「為し」、「成し」、「生し」くらいしかなく、「し」をとると「なし」とは読みにくくなるように思われます。

### “梨”のつく地名から

「梨」がつく地名といえば「山梨」が真っ先に思い浮かびます。この名の由来はどういったものなのでしょうか。山梨県という名は、山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐の国が明治4年11月の廃藩置県の際につけられたもので、「山梨郡」の名前が採られたということになります。その「山梨」は果物のヤマナシがたくさん取れた地という説から、山をなら

して平地にした「山なし」からきているなどたくさんの説があるそうです。山また山という意味の「山成す」が転じたものという説もあります。これを元にしていたのでしょうか、小学生のころ日本の地名の覚え方の一つとして「山があっても、山なし県」という言い回しを口にしてきた記憶があります。ところが、「角川日本地名大辞典」（角川書店 昭和59年）には逆の説明があります。山梨郡の名は、「国志」によると、「山無し」から生じたもので、当地は土地が平らで山がないためそうなったという説明です（但し、“山梨の木が多いところから名が起ったというのが通説である”とも書かれています）。これに近い説明に、「山那智（やまなち）」がなまって「山なし」となったというものがあります。この場合、「那智」は山裾を意味するようで、八ヶ岳、南アルプスのすそであることから「山なち」と呼ばれたのだらうというものです。

さらに、非常に興味深い説明を見つけました。昔、「月見里」と書いてヤマナシと読んでいたことがあるというのです。これはなかなかシャレた表現です。お月見がよくできる場所といった意味です。山梨の地には山がなく、「山なし」となり、そのためお月見が最高の景観でできることから「月見の里」となったという説です。この地の周辺の山々は、昔は「岡」と呼ぶ程度のもだったというのです。「月見里」と書いて「やまなし」と読むのは、今も地名や人名に残っています。静岡県藤枝市に「月見里（やまなし）神社」がありますが、なんとこの地方からはか離れた兵庫県西宮市に「月見里公園」、飛騨の久々野町（現高山市）にある弥陀ヶ洞山のふもとの山梨地区は、江戸期には「月見里」とも書かれていたと岐阜県の地名辞典にあります。静岡県袋井市にも「山梨」という地域があり、かつては「月見里」と書いていたそうです。また、珍しい苗字として「月見里」は有名で、「やまなし」と呼ばれています。ちなみに、これと一緒によく引き合いに出される苗字として「小鳥遊」があります（何と読むでしょう。答えは最後に）。

山梨には道志村の「月夜野」という「月」がつく地名がありますが、満月の夜、月の光で訪れてくる神を迎えて、地域の幸せを祈るためにたくさんの人々が集まった場所をさすそうです。

「望月」という姓は、望月＝満月ということで、その光をたたえて行なう祭りを司った人が名乗ったものと言われますが、山梨県や静岡県には「望月」姓が多いそうです。

### “二十世紀梨”

鳥取県倉吉市には梨の博物館ともいえる「鳥取二十世紀梨記念館」がありますが、そのHPによりますと、この梨は1898年（明治31年）に渡瀬寅次郎という人により命名されたといわれます。この人は彼の札幌農学校で学んだわが国初の農学士で、西欧の学問に触れていたからでしょうか、「世紀」という概念を新しい梨の名に取り入れたようです。この新種の梨の誕生には10年かかりました。1888年（明治21年）に、千葉県松戸市に住む13歳の中学生松戸覚之助が親類宅の裏庭のゴミ捨て場に生えていた小さな梨の木を偶然発見し、移植して育ててみると10年目に結実したというのです。薄緑色の、今までにない甘くて多汁な梨で、先の渡瀬が次の二十世紀には梨の王座につくとの期待を込めて命名したのです。ちなみに、命名後6年経った1904年に、鳥取市の北脇永治という人が苗木10本を育成者松戸覚之助から購入して、鳥取にもたらしめました。その後鳥取が二十世紀梨の名産地となったということです。ところで、日本の梨栽培は「日本書紀」にも登場するほど古くから栽培されています。

「なし」の話題もいろいろ“有る”ものです。

答え：「小鳥遊」の読み方は「たかなし」です。鷹がいなくて小鳥も自由に遊べるからだとか。

## 「読むこと」の一考察

文学部日本文学科 3年 金網俊伸

さて、雑誌というものがあります。今回はこれを使って話を進めてみます。私が読む雑誌は「国文学解釈と鑑賞」(至文堂)、「国文学」(学燈社)、「群像」(講談社)「文学」(岩波書店)などが主です。毎号欠かさず見ているわけではありませんが、ふと見たくなるときがあります。雑誌というか専門誌的な刊行物です。いま確認できる範囲だとLSCには、【SF】や【図書館】、【スポーツ】、【研究誌】といった類の定期刊行物があります。

普段私が読むものはいわゆる「文壇物」とか「論壇物」に近い物です。ある編集者から聞いたことですが、これらは実は出版社側にとってあまり出したくない物だそうです。つまり購読者が少なく採算がとれず赤字になるからということです。何故でしょうか。それは一方的に出した側からの「届かない言葉」という事態が生じたせいです。あまりに専門的すぎてついていけないからです。「専門誌だから専門家しか見ないのは当たり前だ」、と反論もくるかと思いますが、流通させている物ですから「専門家から専門家へ」ではないことはわかるかと思えます。さて、ある編集者が試験的に読者の意見を載せる、用語の解説と言った工夫を凝らしました。そうして読みやすい紙面へ改良したため発行部数は増えたようです。読者も一方的な言葉よりも、親しみのあるところを期待しているようです。

この話を聞いて私が思ったことは、現在の日本では、自分の意見を言わない主体性の欠けた人が多いと言われていますが、そうではなく言えないことに悩んでいるのではないか、ということです。私も高校時代にお世話になった参考書や便覧を出している出版社に感謝とお礼、またこうしてはいかがですかという意見を手紙で出しました。そうして出版社から返事が戻ってきました。「是非次回の改訂時の参考にします」とおっしゃってくださいました。もし改定版に私の意見が反映されていれば嬉しいことですし、以前よりもさらに近い距離で接することが出来ます。双方のやり取り—コミュニケーションをするということ—は、大切なことだと思います。「私」と「出版社」すなわち「受け手」と「送り手」との関係を見れば、双方の歩み寄り—例えば、投稿欄を増やすなど—があると、紙面も長く続くようです。これは日常生活でも実践できるものではないでしょうか。例えばこの「Culib News」を読んで何か意見がある方は手紙などを図書館に出してみたりするのも一つの手です。もし、その意見が図書館に届いて「Culib News」の質向上にもつながればいいことですし、あなたも「作り手の一人」になれるのではないのでしょうか。そう考えるとワクワクしませんか。

本や雑誌を読むだけではなく、言葉を届けてみませんか。本から見つけて感じたこと、それをコミュニケーションできた時、それは素敵なことだと思いますか。

あなたは「何のため」ではなく、「どうして」本を読んでいますか。言葉を届けてみてください。新しい「読む意味」が見えてくるかもしれません。

## 新着図書セレクト

書物は、それが書かれたときとおなじように思慮深く、  
また注意深く読まれなくてはならない。

by ソロー

\* 7～9月の新着図書の中から、お薦めの本をご紹介します \*



『名古屋まる知り新事典』

(牛田正行著・ゲイン) 請求記号：302.155/U 93, 所蔵：NL

金シャチもビックリ！名古屋のことば・もの・ことを1250項目収録。まるごと1冊で名古屋が分かる。

『危ない食卓：スーパーマーケットはお好き？』

(フェリシティ・ローレンス著・河出書房新社)

請求記号：588/L 43, 所蔵：TL



毎日食べているものにはこんな裏事情が…！食の否定ではなく食の喜びを広めるために書かれた女性記者の突撃ルポ。

請求記号	タイトル・著者・出版社	所蔵
019.5/Su 13	『30冊の宝物：「岩波少年少女文学全集」の思い出』 (須田純一著・雲母書房)	LSC
024.8/A 65	『古本買い十八番勝負』(嵐山光三郎著・集英社) 散歩の達人・嵐山光三郎さんと一緒に歩く「知」の探検遊び。	LSC
080/C 44/550	『決められない!：優柔不断の病理』(清家洋二著・筑摩書房)	LSC
140/Ki 71	『現代を読み解く心理学』(北岡明佳著・丸善) 心理学の各領域を網羅的に紹介している。	LSC
210.75/To 67	『原爆を投下するまで日本を降伏させるな：トルーマンとバーンズの陰謀』(鳥居民著・草思社)	LL TL
291.018/Ka 83	『市町村合併で「地名」を殺すな』(片岡正人著・洋泉社)	TL
335.21/I 93	『会社はだれのものか』(岩井克人著・平凡社) おカネよりも人間。個人よりもチーム。会社の未来は、ここにある。	LSC TL
361.4/U 31	『ウェブログの心理学』(山下清美 [ほか] 著・NTT出版) 社会心理学から分析するネットコミュニケーションの最新形。	TL

請求記号	タイトル・著者・出版社	所蔵
361.454/Y 19	『考えるシート』(山田ズーニー著・講談社) 自分の思いがピタッと言葉になる!相手に伝わる!シートです。	L S C
370.4/I 84	『学校に行かなければ死なずにすんだ子ども』(石坂啓著・幻冬舎)	T L
371.42/Mo 69	『子供の心の悩みと向き合う本』(森津純子著・ベストセラーズ) うつ、ひきこもり、拒食症、パニック、暴力…	T L
486.04/Y 84	『私の脳はなぜ虫が好きか?』(養老孟司著・日経 BP 社)	L S C
490.4/H 65	『白衣を脱いだらみな奇人: あるドクターの本音と本当』(平盛勝彦著・日本評論社)	T L
498.04/Ka 31	『それでもやっぱりがんばらない』(鎌田實著・集英社) 「病」だけでなく「心」も受け止める医療がある。	L S C
498.14/N 11	『僕が医者を辞めない理由(わけ): ブラック・ジャックのおじさん!?!になりたい』(南淵明宏著・羊土社)	L S C
519/B 78	『小さな地球の守り方』(ジェームズ・ブリュージェ著・祥伝社)	T L
519/P 97	『もったいない』(プラネット・リンク編・マガジンハウス)	L S C T L
675.3/Ka 53	『逆さまの成果主義: 個性を光らせるから価値が生まれる』(金子浩昭著・ダイヤモンド社)	L S C
702.16/Sa 97	『戦争と万博』(榎木野衣著・美術出版社) 戦争はまだ続き、万博は繰り返される。	T L
767.8/H 94	『ポップミュージックで社会科』(細見和之著・みすず書房)	L S C
809.2/Y 84	『相手の気持ちを引きつける頭のいい人の話し方』(米山公啓著・永岡書店)	T L
836/F 84	『英語の頭で書ける本』(福島範昌著・ジャパントイムズ)	L S C
910.268/W 42	『漱石の「仕事論」: 人生、窮まれば仕事』(鷲田小彌太著・彩流社)	N L
913.6/C 42	『「銀河鉄道の夜」しあわせさがし』(千葉一幹著・みすず書房) 天才ミヤザワケンジのグレートな「幸福論」。	L S C
913.6/N 37	『土の中の子供』(中村文則著・新潮社)	L S C T L
913.6/R 47	『東京タワー: オカンとボクと、時々、オトン』(リリー・フランキー著・扶桑社)	L S C T L
914.6/Ky 3	『妖怪大談義: 対談集』(京極夏彦著・角川書店) 各界の「怪しいものには一家言ある」御仁たち15人と語りにつづった、京極夏彦初の対談集。	L S C

※所蔵の【NL】は名古屋図書館、【LSC】はライブラリー・サービス・センター  
【LL】は法学文献センター、【TL】は豊田図書館です。



## ベストリーダー (2005年4月～8月)

図書館で多く貸し出された資料を紹介します。

【名古屋図書館】 学部生の方も図書館書庫利用願の提出で、閉架書庫に入庫ができます。

書名	著者名	請求記号
学習心理学	梅岡義貴・大山正編著	141.33/U73
小中学生の心理的ストレスと学校不適應に関する研究	嶋田洋徳著	371.45/Sh36
人間の記憶：認知心理学入門	G. R. ロフタス・E. F. ロフタス著	141.31/L82
学習	メドニック著	141.33/Me14
国際経済学	多和田眞・近藤健児編著	333.6/Ta97

【豊田図書館】 社会学・情報科学・生命システム工学・体育学部関連の資料が充実しています。

書名	著者名	請求記号
蹴りたい背中	綿矢りさ著	913.6/W47
リーダーズ英和辞典	松田徳一郎[ほか]編集	833/R37
蛇にピアス	金原ひとみ著	913.6/Ka52
孤独な群衆	デイヴィッド・リースマン著	361.6/R38
スポーツの経営学	池田勝・守能信次編	780.1/I32/3

【LSC】 図書資料はすべて開架式で、英語教材、基礎的な学習図書、小説などが充実しています。

書名	著者名	請求記号
Two Lives	Helen Naylor	837.7/C14/T
Just like a movie	Sue Leather	837.7/C14/J
Just good friends	Penny Hancock	837.7/C14/J
※上記3タイトルの他にも『Oxford Bookworms library』『Cambridge English readers』等の英語教材シリーズの利用が多数みられました。		
電車男	中野独人著	913.6/N39
きみの知らないところで世界は動く	片山恭一著	913.6/Ka84
心理測定法への招待	市川伸一編著	140.7/I14
フライ, ダディ, フライ	金城一紀著	913.6/Ka54

【法学文献センター】 法学部棟に設置された、政治・法律専門の図書館です。

書名	著者名	請求記号
刑事訴訟法	上口裕[ほか]著	327.6/Ka37
刑事法入門	山中敬一著	326/N45
労働法の世界	中窪裕也[ほか]著	328.6/N34
Q&A 改正少年法	甲斐行夫[ほか]著	327.8/Ka21



# 学生の皆さん！



図書館について意見や要望、尋ねたいことはありませんか。

より良い図書館にするため声を聞かせてください

ライブラリー・サロンにご参加ください。  
サロン風にお茶を飲みながらライト感覚で進めます。

## Library Salon

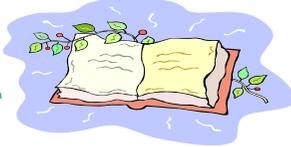
# ライブラリー・サロン

## 図書館の面白み探訪

\* 日時 11月10日(木)午後4時30分から

\* 会場 08B(センタービル8F)

- \* 学生—図書館員—教員が図書館の利用について語り合う会
- \* 先輩である教員から図書館利用の体験談
- \* 学生の皆さんから何でも自由に質問、要望を聞く
- \* 図書館職員からとっておきの利用のウラワザなど披露
- \* これからの図書館像などをともに探っていきたいのです



司会・進行は安村館長

主催 中京大学図書館

-学生だけでなく広く教職員、利用者の皆様のご参加を歓迎いたします

## 図書館カレンダー

10 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

無印は通常開館です。

通常開館時間

名古屋図書館

豊田図書館

ライブラリーサービスセンター

法学文献センター

平 日

土曜日

9:00～18:00

9:00～12:30

9:00～20:00

9:00～17:00

9:00～22:00

9:00～17:00

9:00～18:00

9:00～12:30

■ は休館日です。

■ は開館時間短縮(9:00～16:00 土曜日 9:00～12:00)

○ の開館時間(平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:30)

### ★ お知らせ

臨時休館(入試の為)

12月3日(土) 名古屋図書館・ライブラリーサービスセンター・法学文献センター  
は開館、豊田図書館のみ休館

1月21日(土) 豊田図書館は開館

2月1日(水)～2月4日(土)・8日(水) 豊田図書館は開館

2月9日(木) 全館休館

3月7日(火) 豊田図書館は開館